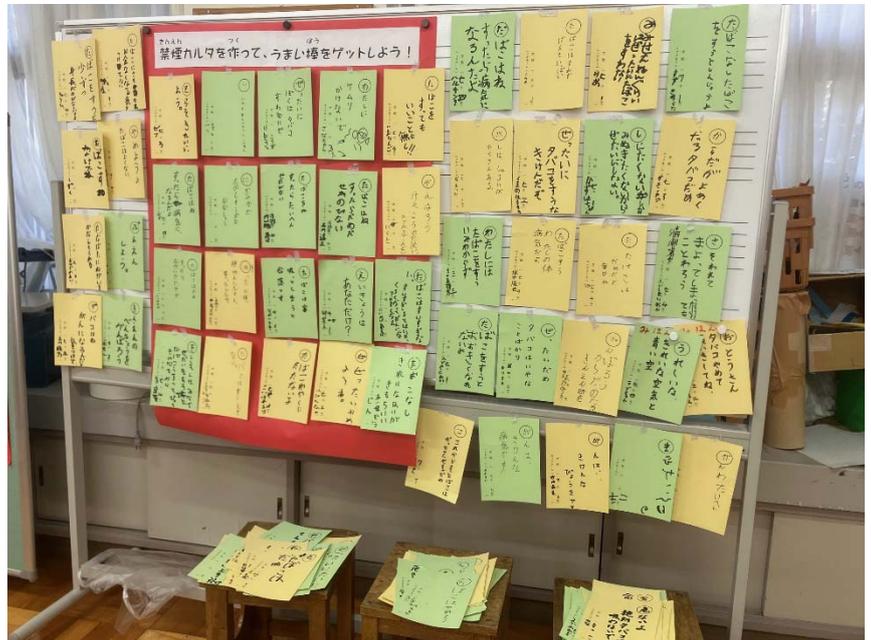




清瀬市立清瀬第七小学校の「松山 DX 祭り」で、125枚もの禁煙カルタが集まる。

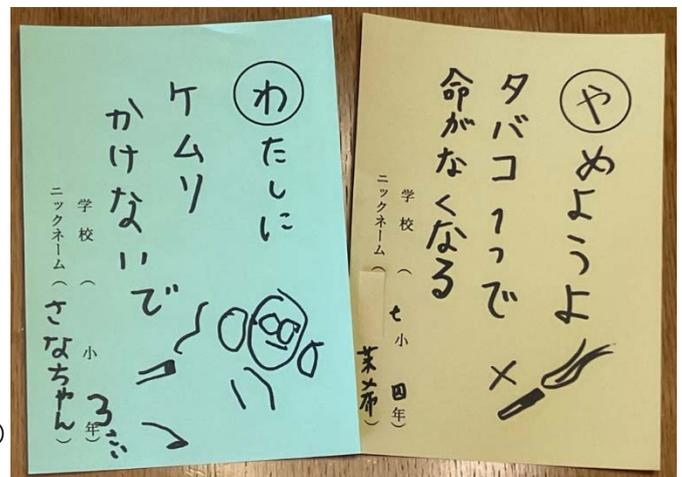
◆令和5年(2023年)11月25日(土)
「市民の健康を守る会」は、今年もポスター展示で参加しました。これまでポスターを展示しても子ども達が来てくれないことが悩みの種でした。今年は趣向を凝らし「禁煙カルタを作ってうまい棒をゲットしよう!」とおまけも付けて禁煙カルタ作りを実施しました。それよりもなによりも、祭り実行委員会の配慮で、会場を漫画家さんや郵便局の塗り絵コーナーと一緒にしてくれたこと、スタンプラリーの任を託してくれたことが功を奏したようです。多くの子ども達が立ち寄ってくれ、125人から寄せられた禁煙カルタは白板に貼り切れず、椅子の上に置く状態となりました。



◆カルタ紹介:

カルタには、学校・学年・ニックネームを書いてもらいましたが、実名の子もいました。SKM 通信掲載にあたり、実名と思われる子については、名前の一部だけを掲載しています。

- ・りんごたべるとたばこをすわないよ (七小1年えいせい)
- ・ぜったいにたばこをすっちゃだめ! (芝山小1年ありさ)
- ・たばこをすってもいいこと1つもない (七小2年さら)
- ・たばこをね すったらはいが黒くなる (七小2年はるちか)
- ・ゆきの中でたばこのけむり いやだな (七小3年ゆずは)
- ・きれいだな タバコすわないわたしの家 (七小3年済空)
- ・たばこは、お金のむだづかい (芝山小4年はるき)
- ・さそわれてまよってしまってもことわろう (七小4年りおん)
- ・とめようね タバコはいけない ぜったいに (七小5年えな)
- ・うわ…くさいよ…たばこのせい!?もてないよ! (七小5年ゆうちゃん)
- ・「いっかいだけなら」そのはずが… (七小6年スケシュン)
- ・ぜったいだめ タバコはいやなことばかり (七小6年ゆりまる)
- ・よごさない未来と自分 (二中1年はたけやま)
- ・えいきょうはあなただけ? (四中1年卯星人)
- ・ちょい待った電子タバコも危険だぞ (早大属中3年ニッシー)



◆パパと合作の未就学児もいました。あまり考えずさっと書く子もいれば、じいっと長いこと考えた末に、絵も添えてカルタの文言を書いてくれた子もいました。

受動喫煙ならびに喫煙対策は、喫煙者のマナーの問題でも、ゴミ問題でもありません。貴方と貴方の大切な人の**命の問題**です。受動喫煙で毎年 15,000 人が亡くなっています。SIDS(乳幼児突然死症候群)のリスクは両親が喫煙者では4倍高いといわれています。喫煙者の寿命は平均で 10 年短く、毎年 13 万人がタバコによる健康被害で亡くなっています。その死亡による経済的損失はタバコ税の2倍です。親の死は、子どもの将来を左右します。今一度、タバコの害(ニコチン、タール、一酸化炭素)やリスクを学び、なにより**命**について考えてみましょう。





七小円卓会議松山DX主催のDX祭りは、子どもを中心に地域との繋がりを大切にしています。



子どもに忍び寄る電子タバコの危険

今回の展示で用いた禁煙マークには加熱式タバコのイラストも入れました。しかし、実際は子ども達にこのような形をした物はすべて危険であることを示すためです。**電子タバコ**です。

わが国において医薬品医療機器法（薬機法）により、ニコチンを含むリキッドの販売には許可が必要です。ニコチンを含まない電子タバコは、たばこ事業法のたばこ製品として分類されないため、未成年者も購入可能となっています。

電子タバコ販売会社をネットで検索すると、110件も抽出されました。会社名には「ヘルシー・・・」「メディカルベイブ・・・」「・・・研究所」など健康に良いようなイメージを狙ったものもありました。メーカーは、子どもが好みそうなフレーバー入りリキッドを次々市場に投入しています。ニコチンの有無にかかわらず、電子タバコにはホルムアルデヒド、アセトアルデヒドといった発がん性物質などを発生するものもあり、アメリカでは使用した若者に死亡例が出ています。スターターのリキッドを変えるだけなので、ニコチン入り吸っているのか否か外見だけではわかりません。子どもが好奇心から、「これはタバコじゃないよ」と言って始めた結果、ニコチン入り、紙巻タバコ、今世の中で問題になっている大麻、そして他の違法薬物へと転がる危険は否定できません。大人は子どもを守るためにどうしたら良いか考える責務があります。

禁煙カルタづくりの様子

図工室のほぼ半分を使わせていただきました。展示物にはすべて読み仮名をつけましたが、パネルに貼り切れなかった、でも知ってほしい資料は、机の上にも置いておきました。東京都福祉保健局の資料（中学生版）から、誘い方の例や断り方の例。たばこに関するQ&Aなど。

参加者は未就学児7人、小1-2が36人、小3-4が37人、小5-6が31人、中学生6人、不明8人でした。低学年の子は保護者同伴が多く、親子で健康の話ができたことは今回のイベントの大きな成果です。



子どもの中には、親がタバコを吸っている子もいるでしょう。その子が展示を通してパパやママの健康について気づき、命の心配をしたとき、スタッフはどのように説明し、フォローしたらよいか。今回一人の子を通して考えさせられました。喫煙防止教育の中で抜けている課題ではないか、そこまでしなければ教育ではないのではないかと。



寄付のお礼

鈴木 紀代子 様 1,000 円

当会は会員の会費と寄付で活動をしております。ご寄付は受動喫煙防止啓発グッズ作成等に使用いたします。

郵便振替：00130-7-388023 市民の健康を守る会
ゆうちょ銀行：(当座) 店 019 口座 0388023